

目標達成計画

事業所： グループホームふれあ

作成日： 平成22年 6月 17日

市町村受理日：平成22年 6月 21日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	事業所理念の中に地位との密着性が表わされていない。	理念の中に地域密着性を表現した項目を追加し全職員に徹底させる。	改定された理念の施設内への掲示と「理念カード」を造り職員全員が携帯していつでも確認出来るように工夫する。	1か月
2	4	運営推進会議が定期的に行われていなかった事と、限られた参加メンバーで行われ易くなっている。	運営推進会議の定期的開催を行う。参加メンバーを増やしメンバーの欠席があった場合などにも対応できる体制を造る。	民生委員・連合町内会福祉部・連合町内会婦人部・ボランティア団体に参加を促す。	2か月
3	13	職員教育における外部研修の参加機会が少なく認知症に対する新たな情報や正しい理解が不足している。日々のケアに追われて職務がマンネリ化し易い傾向になっている。	外部研修の機会を増やし、研修参加者の知識を共有する内部研修を行う。	最低年4回の外部研修と年6回の内部研修を実行する。(内部研修は定例会議と同時に行う事も含める)	1年
4	6	身体拘束をしない等禁止行為に対する具体的行為を正しく理解していない。施設の入り口の施錠をしないような工夫が必要	外部研修に参加し知識を共有する。入り口の施錠について再度検討をする。	外部研修への参加と内部研修による知識の共有を行う。玄関の施錠については運営推進会議・入居者家族とも話し合い改善の方向で検討を行う。	1年
5	36	個人の人格、誇りやプライバシーに対しての意識が薄い面がある。	内部研修での学習会を行い全職員に徹底させる。	学習会を開催すると共に定例会議等で現状をチェックする。また現在ノート形式になっている来訪記録をプライバシー保護の為に個別伝票形式に変更をする。	6か月
6	33	新規採用職員に対しての重度化や終末期の具体的な対応への指導及び情報交換が成されていない。	重度化・終末期で過去に対応した経験による知識を全職員に共有させる。家族との会議等を検討し事前にご家族に理解をして頂く。	重度化及び終末期対応の検討会議を行い具体的な対応の情報交換を行う。家族と合同家族会や個別の話し合いをもち重度化及び終末期の対応を事前に認識して頂く。	6か月
7	35	消防訓練が定期的に行われていなかった。災害時に備え飲食料・防寒着が備えられていない。	避難訓練を定期的実施し、消防署・町内会にも協力して頂く。災害用物資に対しての必要な物と量を検討し装備する。	年に2回の消防訓練の実施を徹底する。災害用の必要な飲食料と衣類等を運営推進会議も踏まえて検討して装備し定期的に確認する。	6か月

注1)項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入して下さい。

注2)項目数が足りない場合は、行を追加して下さい。